

さわやかすずめのみや 連続二〇〇か月満床達成!

栃木県宇都宮市でさわやか倶楽部が運営する介護付き有料老人ホーム「さわやかすずめのみや」では、二〇二二年五月末での満床をもつて二〇〇か月連続の月末満床達成となりました。二〇一四年二月以降、八年以上かけて到達した記録を称えて、六年度の月例会議の中で社員に紹介され、山本社長から感謝の言葉と記念の盾が贈られました。今回の連続満床記録を記念して、歴代の管理者からもコメントが寄せられています。

初代 原野 聖士 運営指導部・副部長

さわやかすずめのみやの職員の皆様、満床二〇〇か月達成、誠にありがとうございます。



二代目 志賀 貴紀 福島・栃木エリア エリアマネージャー

私は初代施設長だった原野副部長に面接していただき、さわやかすずめのみやに入社しました。今から約十年程前のことですが、今でも原野副部長の教えが施設全体に息づいており、月末満床の継続もその一つです。



現在(四代目) 大木 秀子 さわやかすずめのみや 副施設長

五月三十一日で満床連続二〇〇か月を迎えました。年数にすると八年四か月になります。これも歴代施設長のご尽力のお陰と思っています。また入居者様、そのご家族、地域の方々や、急な対応にも協力してくださった職員に感謝いたします。

私は今年五月から管理者を務めており、それ以前は計画作成担当者として、長澤ケアマネジャーと二人三脚で入退きの業務も行っておりました。振り返ってみると、山あり谷ありで本当に大変でした。しかし、基本的なことは、ご本人とご家族の立場に立つてお話を伺い、丁寧に対応することではないかと思っています。また満床を継続していることで、地域の皆様に『よい施設』人気の施設との印象を深め、満床が満床を呼ぶ結果につながったと感じます。



二〇二二年六月、初めて栃木県宇都宮市の地に降り立ち、二カ月後の新規開所に向けて内装工事真っ只中にヘルメットを被り、これから自分が背負っていく物事への責任と不安を抱きながら見回っていた記憶は、今でも鮮明に覚えています。

二〇二二年十月、無事に開所を迎えました。開所直前に開催した三日間の内覧会来場者は累計三〇〇名を超える大盛況で、開所から約三か月間で満床となりました。当時私の直属の上司だった石本部長や八尋部長をはじめ、県外の仲間達がサポートに来てくれて、寝食を共にしながら開所の慌ただしさを乗り越えられたことが、後の私自身にとっても、この度の満床二〇〇か月達成にも、とても影響があったと感じています。

私は約五年間すずめのみやの担当をさせていただきましたが、その間にチームで共有していたことは「地域に必要な存在であり続ける」ことであり、外部営業で「集める」ことよって満床を維持するイメージではなく、内部営業によって自然と「集まる」仕組みを構築することでした。施設に関わってくださる方々に、「私たちと出会えてよかった」と思っていたら、という思いでスタッフを常に追求しよう、という思いでスタートアップが動いてくれました。

私はスタートアップを切っただけで、その後約十年間も継続することはとても難しく、プレッシャーも大きかったと思います。本場に現場の方々の熱量の結果です。ぜひとも、引き続き「必要とされる存在」に磨きをかけて、次なる二〇〇か月満床を目指してください。

三代目 藤井 新一 さわやかそう花の里 施設長

二〇二六年八月一日に、さわやかすずめのみやより異動し、さわやかすずめのみやの管理者として勤務させていただきます。私が引き継いだ時は、満床連続が三〇か月でした。当時は秋田市のさわやか桜式番館が連続満床のトップを独走しており、その背中をずっと追いかけてきた目標に感じていました。



満床連続が途切れる危機も数回ありましたが、ケアマネジャー、相談員、そして全ての職員の協力のおかげで継続ができています。ご家族様にも恵まれ、急な入居の案内にも快く応じていただいたことが何度もありました。

原野副部長が築き上げた原野イズムは、今も施設全体に浸透しています。満床が当たり前、定額料金、そして入居者様、ご家族様に寄り添うことの大切さや職員育成等、多くのことを学びながら満床が継続できています。

記念となる二〇〇か月満床継続に関わることができた喜び、そして私を指導してくださった原野副部長、志賀エリアマネージャー、根岸サブマネジャー、私を後押ししてくれた職員さんに感謝しています。今年の五月より私はさわやかそう花の里に異動となりましたが、これからもずっと応援しています。



これからも皆様のご期待に添えられるよう、これまで以上に入居者様との触れ合いを大切に、入居者様の人生に寄り添い、職員一同居心地の良い施設を目指してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

さわやかすずめのみや

〒321-0139 栃木県宇都宮市若松原2-18-26

●介護付き有料老人ホーム 定員60名
●ショートステイ 定員12名

TEL.028-688-3337



会長賞

2022年
6月度
表彰

さわやか倶楽部の介護施設に入居され、その後ご逝去されたお客様のご家族様から、職員宛に感謝のおたよりをいただきました。

さわやかいずみ館（福岡県朝倉市）

入居者様の息子様・娘様より

最後までいろいろとお手数をかけられました。返金ありがたく受け取らせていただきます。

短い期間でしたが、人一倍ご心配おかけし、また、ご親切に接しましたこと、何より感謝しております。

できれば皆様と一緒にもう少し父の笑顔を見ていたかったです。天命だったと思います。

いずみ館の皆様のご健康とご多幸をばよりお祈り致しております。



《施設からのコメント》

熊本生まれの相川様は、週末に帰省されるご家族様の支援を受け、一人で生活されていましたが、それもだんだんと難しくなり、ショートステイを利用しながら施設を探されていました。コロナ禍で、ご家族様が県外であることから、熊本での施設受け入れが難しく、急遽、息子様が住む朝倉市の当施設へ入居となりました。

入居前は食事も摂らず、ベッドで休まれることが多かったようですが、入居後は、生き生きと過ごされ食事も毎回完食。愛情ある笑顔は、ご家族様や私たちに喜びをもたらしてくださいました。かけがえのない時間を共有できることを楽しみにしていた矢先の入院。短い期間ではありましたが、相川様とご縁をいただいたことに感謝し、今後も皆様の人生がより幸せに輝くお手伝いができるよう努めてまいります。（生活相談員・和佐野 蓉子）

※写真およびお手紙は、入居者様ご本人およびご家族様の許可を得て掲載しています。

Star No.166

センター長

あなみ

阿南 真奈美さん

さわやか愛の家しものせき館
[山口県下関市]



キラリ一等星

光り輝くスタッフのご紹介

結婚を機に専業主婦となり、子育てをしながら、コンビニや事務用品を取り扱っている会社の事務員としてパートをしていました。娘たちが大きくなるにつれ、将来は「人の役に立つ仕事に就いてほしいな」と考えるようになり、私自身も「自分の持っている資格を活かし、誰かの役に立てる仕事をしてみたい」と、娘たちの進学を機に転職をしようと考えました。そんな時、求人誌で放課後等デイサービスという仕事があることを知り、さわやか倶楽部の面接を受けました。

日々の支援を通して、子ども達や保護者様、職員さんと色々な思いや感情を共感する場面がたくさんあります。時には上手いかず悔しい気持ち、できた!うれしい気持ち、またやりたい!弾けるような楽しい気持ちなど、支援者ではありますが、子ども達が私たちの支えになってくれていることを実感したときにとってもやりがいを感じると共に、子どもたちの貴重な今という瞬間に関わっていることに心から感謝しています。

毎月各家庭に、事業所のお便りと一緒にサービス改善ハガキ(アンケート)を配布しています。共働きのご家庭が多く、保護者の方々とゆっくりお話できる機会も多くはありませんが、ご家族のニーズも伺いながら可能な範囲で対応したいとの思いがあり、気軽にご意見やご要望をいただける環境づくりをしていました。そんな時にいただいたハガキの中に「いつも手を差し伸べてくれるスタッフの方々の笑顔にホッとします」と書かれており、大切なお子様を安心して預けていただけているのだと嬉しくなりました。

コロナ禍でなかなか外出ができない中、事業所内で職員と一緒にできる活動を考えてきました。「体験・体感・体現」をテーマに事業所運営をしている愛の家しものせき館において、体験活動が思うように進められなかったこの2年間は試行錯誤の日々でした。今後はwithコロナの社会動向に合わせながら、子ども達の社会参加に向け、地域交流も目的とした体験活動を計画していきたいと考えています。

プライベートでは手芸が好きで、昔は娘たちのためにフェルトのおもちゃや洋服、小物などを作っていました。最近は作る機会も少なくなりましたが、自分の欲しいものや使いたいものを中心に作っています。

一昨年、次女が不登校気味になってしまった時に、退職することも考え、岡サブマネジャーと市丸統括に相談しました。お二人からは「続けたいと思ってきているなら、続けられる方法を一緒に考えよう」と提案していただき、勤務時間の変更や働き方の工夫等を考えていただきました。おかげで、仕事と家庭、子育てとのバランスを取って娘にも寄り添いながら働くことができています。その娘もこの春、高校生になり、日々悩みながらも今を楽しんでいます。私が働くことを諦めなくていいように、私の思いに寄り添い、一緒に考えてくださったお二人に感謝すると同時に、さわやか倶楽部に入社してよかったと改めて感じました。

センター長としてはまだまだ未熟ですが、これからも一生懸命、業務に取り組み、多くのことを学びながら、社会貢献していきたいと考えています。

事例発表全国大会

優秀賞 さわやか鳴水館
(福岡県北九州市)

発表者 宇津巻 進 テーマ 「インクルージョンの実践」



今回の事例発表では、年齢や性別、国籍、障害の有無に関わらず、施設の中で職員が互いに個性や違いを尊重し合い、職員全体でより良い施設づくりを目指した取り組みを紹介しています。

北九州市は2018年6月にSDGs推進のモデル都市としてアジア地域で初めて選定され、さわやか倶楽部も北九州市における第一次登録事業所となっています。「インクルージョン」や「ダイバーシティ」などと表現されるように多様な働き方が求められる昨今で、高齢者や障害者、外国人インターシップ生の受入れ実績があるさわやか鳴水館から「雇用」について情報発信ができるのではないかと思います、このテーマを選定しました。

鳴水館の介護職員28名の構成比を見てみると、50%以上が55歳以上であり、70代が3名います。そして、20代・30代の職員7名の内、3名が障害者です。また、在職期間が非常に長いのも特徴で、入社10年以上の職員は46%にもなります。高齢職員や障害者雇用が多いことで、できる業務が限られたり、夜勤に入ることができなったり、急な体調不良で休みが入ったりと困難なこともいくつかあります。しかし、鳴水館では職員も入居者様もそれを普通のこととして受け入れています。

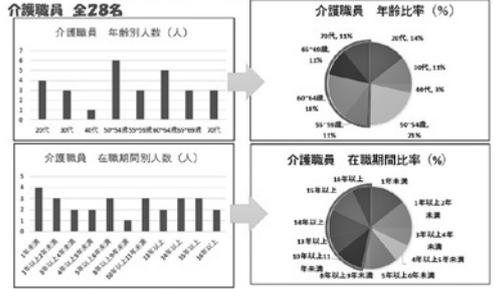
2021年秋頃からは介護記録システムを導入し、これまで手書きだった記録がスマートフォンでの入力に変わりました。慣れない操作に戸惑う職員が多い中、システム化の主軸となったのは、障害者雇用の職員でした。「やるべきことはやる」「真面目に取り組む」姿勢が発揮され、他の職員へフォローを行うまでになりました。

また、69歳の職員は、脳梗塞で座位も保てなかった入居者様に対し、娘様の誕生日と一緒に歌のプレゼントをしようと練習を始めました。1か月間根気強く、食事の前に練習を続け、迎えた当日は

お気に入りの服に薄化粧と髪のセットを行い、娘様も「こんなに嬉しいプレゼントはないよ」と泣いて喜んでくださいました。この一つひとつの気遣いがお客様の安心と信頼に繋がっています。

職員の「できないこと」ではなく「特性」や「得意」に目を向けて多様性を認め合い、それぞれが役割をもって働くことはとても素敵なことです。鳴水館では今後もインクルージョン経営やSDGsの実践を続け、笑顔の花が咲く職場づくりを行っていきます！

さわやか鳴水館の特定施設介護職員構成



事例発表全国大会のプレゼン動画について、ご本人様やご家族様の許可を頂いたものについては、さわやか倶楽部のYouTubeチャンネルで公開しています。



産んでくれて
育ててくれて
ありがとう!



介護主任
森下 あゆみさん

さわやか枚方館
[大阪府枚方市]

1980年6月9日、梅雨時期なのにキレイな晴天の16時頃、私は母と父の3人目の子として、この世に「こんにちは、はじめまして、これからよろしく♪」と挨拶しました。

私と母は出産後「感動の親子初対面!!」とはいかず、生まれてすぐ母に抱かれることもなく、出産後に対面を求める母に「黄疸が酷いので…」とわが子なのに会わせてもらえなかったそうです。母は私の前に姉・兄を出産していますから「この子は何かあるんだろう」と気付いていました。そして母は「自分の子がどういう状態で産まれて来ても私の大切な子には変わりありません。どうかあの子に会わせてください」と懇願し、私は生まれて5日後に初めて母に抱っこされました。小さくて優しく強い母から生まれてきた私は3,460gと大きく、今と同じように母のお腹の中でも落ち着きなく動いていたのでしょう。私は「内反足」という、左足が内側に強く反り返った状態で産まれてきたのです。

産院を退院後、母は私の足を治すため、姉と兄の育児真っ只中に、雨の日も風の日も整形外科へ私を連れて通院してくれました。私がギブスを装着しながら自分の足で立つことが出来たのは1歳9か月頃

で、その時には家族みんなで「よかったうれしい!!」と喜び、涙を流してくれたそうです。自分の足で歩けるようになったのは3歳の時でした。

私の名前はひらがなで「あゆみ」と書きます。このステキな名前をプレゼントしてくれたのは母です。「いつか自分の足で歩けるよう、出会う人を大切に想い想われ自分の人生を歩めるよう…」とたくさんの願いを込めて付けてくれた名前です。その母の想いを胸に私は今、介護主任として入居者様により良く、寄り添えるケアを提供させて頂いています。そして素晴らしい仲間たちとも出逢うことができ、とても幸せな人生を送っています。

母があんな時に「治らないから…」と諦めていたら、今の私は居ないと思います。お父さん、お姉ちゃん、お兄ちゃん、私の大切な子どもたち、私と出逢ってくださった全ての人たち、たくさんの愛情・優しさ、時には痛みや辛さもありましたが私を成長させてくれてありがとう。たくさん「ありがとう」と思えて言える、そんな私の生き方を教えてくれたお母さん、産んでくれてありがとう。

そして私のおじいちゃん、おばあちゃん、母と父を産んで育ててくれてありがとう。

さわやかダイアリー

日々更新される施設のブログから一部をご紹介します！



その他の
記事は
こちらから



5/27

グリーンパーク薔薇フェア

さわやか小規模多機能清納館^{せいのが} || 福岡県北九州市

今日は、お天気に恵まれ、北九州市立響灘緑地グリーンパーク春のバラフェアに行きまして。風が強かったのですが、お天気は上々で、気持ち良く美しい薔薇の見事な風景を見ることが出来ました。広大な広さでしたので、歩く距離もありますが、皆様、一生懸命に歩かれながら美しい薔薇の花々に癒されていました。皆様、車に乗り込まれ「行ってきま〜す」気分もノリノリです。さあ、しばらくはドライブを楽しんでレッツゴー。グリーンパーク薔薇フェアに到着しましたよ。皆様、胸が弾まっているのではないのでしょうか？車椅子、シルバーカー、杖歩行の方は手を繋いで、転倒事故がないように行きましょう。安全第一です。ゲートを潜って、しばらく歩いていると薔薇の香りが、風に乗って来ます。それは、とても心癒される香りでした。長い下り道を行くと、薔薇の花園の世界、鈴木省三先生のコレクションの花園でした。長崎のハウステンボスの薔薇の花園も手掛けられている有名な先生の作品に出合えて大感激です。感謝の言葉がほとばしります。幸せです。美しい薔薇の観賞は大成功。癒しをありがとうございます。また来年も行きましょうね。(原田 喜代子)



5/27

運動会2022



さわやか成田館^{なりた} || 千葉県成田市

成田館運動会2022を行いました。3階白組、応援団長・副団長。かっこいい。可愛い。きまっています。あれれ、全身赤色。2階赤組さん登場です。赤組、応援団長、副団長、赤の衣装です。お互い頑張ろうと握手です。

まず最初にボール入れです。選手ははちまきをし気合をいれます。各自ボール2個持ち、かごの中に入れます。よーいどん、頑張れ！次にプッツン綱引選手入場です。こよりを両チームでもち、引っ張り合います。今度は大玉渡し、パン食い競争です。

結果発表。100対90で赤組優勝です。来年は、ご家族様も一緒に運動会が出来る事を祈っています。とても、とても盛り上がった運動会でした。(伊藤 春美)



6/2

キャンプごっこ

さわやかくきのうみ保育園 || 福岡県北九州市

今日は、皆でキャンプあそびをしました。園庭にブルーシートを広げて、ままごとをしたり、テントに入って遊んだりしました。上にもシートをタープのようにつけて、本当のキャンプのようにして楽しみました。お料理をしたり、ご飯を食べたり、ブルーシートにジャンプしてタッチしたり、色々なことを楽しんでいましたよ。

お外でのあそびがとっても気持ちの良い季節になりましたね。お茶もお外で飲んでしっかりと水分補給も行いました。子どもたちはとっても楽しかったようで、私も嬉しくなりました。また、お外でたくさん遊ぼうね。(原田 愛子)



6/6

祝！百寿記念式典

さわやかみなと館 || 新潟県新潟市

先日行われた百寿記念式典の様子をご紹介します。皆様からの大きな拍手ともに入場され、みなと館を代表して上榎副施設長よりお祝いの挨拶をさせていただきました。「まさか自分が100歳まで生きるとは思っていませんでした。こうして皆さんにお祝いしていただきとっても嬉しいです。」人生100年時代と言われている現代ですが、100歳まで元気でいられることはそう簡単なことではありません。「いやぁ本当にすごいね。」「私も100歳まで頑張りたいわ。」「スピーチの最中にもいろいろな声が聞こえてきました。入居者様代表の挨拶では、同じテーブルの仲良しの入居者様からお祝いの言葉をいただきました。

最後は皆様でお祝いの気持ちを込めて「川の流れるように」を歌いました。たくさんの笑顔が見られた百寿記念式典。100歳という特別な瞬間をみなと館でお祝いさせていただけたことを大変光栄に思っております。(小泉 美緒)



5/30

祝2周年記念パーティー

さわやかこうべにし館 || 兵庫県神戸市

当さわやかこうべにし館は2周年を迎えることが出来ました。心より感謝を申し上げます。各階で2周年パーティーの一環としてくじ引き大会とお誕生日会を開催いたしました。上位賞を取った方はとても喜んでおられ、『ホントか!!』と少し驚いた様子でした。また、クッションを手にいれて『どこに置こうかな』とも話されていました。

お誕生日会も同時開催されました。5月のお誕生日は7名おられまして、ケーキを前に嬉しそうに召し上がられ、お誕生日の歌も歌い、祝福ムードいっぱいでした。

3周年へ歩き始めました。引き続き皆様方のご指導、ご鞭撻、よろしくお願い致します。(植田 修平)



5/30

七夕飾り作り

さわやかかぬま館 || 栃木県鹿沼市

「今年はたくさん作って、七夕を盛大にやりたい。そして、天の川も作って、みんなの願いを書こう。」と七夕制作が始まりました。輪っか作りから始まり、ちょうちよを作ってつなげる作業、そして「去年は織姫・彦星が小さかったから、今年は大きく等身大で作ろう」の一言から、段ボールに大きく織姫・彦星を描きました。それをご入居様に絵の具で染めていただきました。皆様、夢中で取り組んでいただいていたので、今からどんな七夕飾りになるか、楽しみで仕方ありません。無理せず、楽しく作っていきましょうね。(手塚 恵)



6/3

4周年祭



さわやか桜参番館 || 秋田県秋田市

6月1日に開催された4周年記念祭の記念品編をお伝えします。記念品としてクローバーの模様が入ったトイレトペーパーを贈らせて頂きました。柄のクローバーの中には、四つ葉のクローバーが入っていることも。「さっそく使ってみるわね」「四つ葉のクローバーを探すのに夢中になっちゃいそう」喜んでいただけ嬉し限りです。

記念品をお渡しさせていただいた後は、おやつに職員お手製のケーキつきプリンアラモードを食べさせて頂きました。「豪華で美味しいな」「ケーキにプリンにフルーツどれも好きなものばかり」無事、周年祭を終えることができました。これからもご入居者様、ご家族様が安心してお過ごしいただけるよう職員一丸となって、支援させて頂きますので今後とも宜しくお願い致します。(福田 枝里子)



さわやか倶楽部SDGs目標項目

『介護セミナー&相談窓口』第3回目を開催!



介護するときのお声がけを工夫しましょう。

口コミ参加が増えて、介護の悩みを打ち明けられる地域の方も!

「さわやか宗像館」と宗像市の団地再生プロジェクト「ひのさと48」さんとの協働セミナー三回目を行いました。
十四名の参加者は、一回目からの常連さんと、口コミ参加者の半々。さらに、さわやか新門司館とさわやか愛の家むなかた式番館からも職員が参加し、さわやか倶楽部の社会貢献の輪を広げてくれました。福祉と健康を広げるというSDGsが、地道に広がっています。

今回は『介護の声掛けの工夫』をテーマにお話をしました。「母を自宅で介護していますが、食べた記憶が消え、冷蔵庫をあさって食べるので困っている」という真剣な相談も。具体的にアドバイスしながら、お母様は日光浴にお連れしたりして『地域での助け合い』『コミュニティ』の風景が定着してきました。

終了後には、宗像館の池田生活相談員提案の、メッセージカード作りの会を実施。地域の方に癒しを与えながら問題解決できる会になりました。

次回は七月十三日(水)、介護保険の基本をテーマに行います。興味のある方はお気軽に運営指導部・原田までご連絡ください。(原田 裕子)



社会福祉協議会からも参加、地域の輪に入っています。



メッセージカードは人の繋がりを笑顔のあるものにします。



さわやか倶楽部の面々も、家庭料理や癒し犬の話で盛り上がりました。



ひのさと48スタッフ、吉武さんの呼びかけで地域の方が集まります。

自動販売機で子ども食堂を支援

さわやか倶楽部の介護施設に設置している自動販売機の販売手数料の一部を、二〇二二年五月から「子ども食堂ネットフーク北九州」に寄付することになりました。子ども食堂ネットフーク北九州は、北九州市内で活動する子ども食堂の運営支援を行っており、ウチヤマグループが運営している子ども食堂も対象に含まれています。今回は九州アサヒ飲料販売株式会社とのタイアップにより、今後三年間にわたって、毎月一定の金額が子ども食堂の運営サポートのために寄付されます。



さわやか立花式番館



さわやか直方館

- 対象自販機の設置施設
- さわやか和布刈館
- さわやか大島吉番館
- さわやか大島参番館
- さわやか清田館
- さわやか鳴水館
- さわやか直方館
- さわやかいそうだ館
- さわやか立花式番館
- さわやか野方館
- さわやか春日館
- さわやかこすもす館

さわやか君 by Yas.



さわやか宗像館ご入居者様 柏木康武様作





人気の集まる施設を作ろう

◆ さわやかすずめのみやが100か月連続満床を達成

さわやか倶楽部が栃木県宇都宮市で運営する介護付き有料老人ホーム「さわやかすずめのみや」が、今年の五月末で100か月連続の月末満床という素晴らしい記録を達成しました。八年四か月もの長期にわたり、月末時点で一部屋も空室がない状態を維持してきた歴代の管理者の方々や職員の皆さんの努力に、心から感謝しています。

私はさわやか倶楽部を設立した当初から、介護施設を運営するにあたって空室・空きベッドを「0」にすることを全社の目標に掲げてきました。入居される方が増えることにより、売上や利益につながるという経営的なメリットはもちろんありますが、それ以上に、地域社会の中で必要な介護サービスが受けられずに困っておられる方に、当社のサービスを提供させていただくことで、安心して豊かな生活を送ってほしいという思いがあります。

その原点は、私が二十代の頃に米穀店の店主として、各家庭にお米を配達して回っていた頃にさかのぼります。お米の配達に行つた先では、ご高齢の方が寝たきりだつたり体が不自由だつたりで、とても不慣れた生活状態にあるのをたびたび目の当たりにしていました。子供のころから「医者になつて世の中の役に立ちたい」と思っていた私は、その叶わなかつた夢を高齢者福祉という別の形で実現したいと思うようになり、不動産事業、カラオケ・飲食事業に続いて介護事業に参入しました。

最初に施設を開設する際、他の事業者が運営する介護施設などをいくつか訪問・見学しましたが、中には入居者の方に対して上からの目線で「お世話をしてあげる」という態度で接するような施設もありました。そのような介護に疑問を抱いた私は、当社の施設では入居者様の尊厳をお守りすることを基本理念に掲げ、高齢になつても自分らしい生き方ができる施設づくりを目指してきました。

◆ 地域での信頼を集めよう

そうした思いをもって建物を作り、同じ価値観を共有して働いてくれる仲間を集め、立派な介護施設が出来上がったとしても、それを地域の方々に十分お伝えして利用していただかなければ、せっかくの社会資源が無駄になってしまいます。だからこそ、日ごろから地域の方々に寄り添い、必要とされる施設づくりを施設長や管理者だけでなく、職員みんなで意識して行っていく必要があります。

さわやかすずめのみやで今年五月から管理者を務めている大木秀子副施設長は、昨年の五月、コロナの第四波が全国に広がる中で、オンラインを利用した「認知症パートナー」の活動として地域のグループホームの入居者様に対する傾聴ボランティアを行いました。その活動が地元でも評判となり、九月には地域コミュニティラジオにも出演してその時の様子を発信しました。地域で困っている方々にも出演してその時の様子が伝わっていくことが地元の信頼獲得につながる、100か月連続満床のような結果に結びついたのだと思います。

介護施設は、ただ単に衣食住を提供し、生きていくだけの場所ではありません。加齢や心身の障害により、一人では生活が困難になつた方が「その人らしく生きていく」ための場所でもあります。当社の理念をそれぞれの施設職員が共感して実践し、「さわやか倶楽部の介護に出会えてよかった」と一人でも多くの方に感じていただくことで、自然と地域にとつて必要な施設になっていくのではないかと思います。現在空室がある施設においても、今ある資源を社会のために有効に活用していただけるよう、自分たちの提供するサービスに自信と誇りをもって外部に発信していきましょう。



オススメ

- 1 ネバー・ギブ・アップ (浜田 卓二郎)
- 2 同志少女よ、敵を撃て (逢坂 冬馬)
- 3 全体主義と闘った男 河合栄治郎 (湯浅 博)
- 4 世界の「頭のいい人」がやっていることを1冊にまとめてみた (中野 信子)
- 5 だろだらけのじぞうさん (谷 真介 文 / 赤坂 三好 絵)

介護研修の受講費用がお得に! 三幸福祉カレッジと提携開始



さわやか倶楽部では、全国で生涯学習事業や法人向け研修事業等を手がける株式会社日本教育クリエイト(三幸福祉カレッジ)と提携を結び、全国にある約350教室での各種研修(介護初任者研修・介護実務者研修)が法人価格にて受講可能となりました。対象者は正社員、非常勤職員を含む全従業員となります。

国家資格である介護福祉士の取得においては、2017年1月の試験より「実務経験3年以上」に加えて「実務者研修の修了」が義務化されています。受験へのハードルが高まる中、今回の法人割引制度を活用することで、当社で働く方々が少しでも少ない経済的負担で、より一層のスキルアップを目指していただきたいと思っています。

三幸福祉カレッジで研修を受講をされる方については、国の各種給付金制度(一般・専門・母子父子家庭等自立支援

教育訓練給付金制度)も活用できるため、初任者研修であれば法人価格からさらに20%が雇用保険から支給となり、実務者研修においては50%~70%(諸条件あり)が支給されるため、低価格でスキルアップを目指すことができます。ぜひ、この制度を有効活用して、資格取得を通じたキャリアアップを目指していきましょう。(運営指導部・原野 聖士)

問い合わせ・申し込みは、
運営指導部・原野副部長までご連絡ください。



三幸福祉カレッジの
講座案内はこちら



「ライフマップ」が スマート介護に掲載されました!

さわやか倶楽部が九州大学と共同で開発した高齢者とのコミュニケーションツール「ライフマップ」が、介護用品の通信販売用カタログ「スマート介護」の紙面版、WEBページにそれぞれ掲載され、全国の介護事業者等に向けた本格的な販売がスタートしました。

さわやか倶楽部では、2018年7月からこの「ライフマップ」を使用して、施設入居者様の生きがいづくりを軸としたケアプラン作成とその実践に取り組んできました。実際の活用事例については、ウチャマタイムズでも不定期で掲載しています。オンライン版では過去の掲載事例をすべて見ることができます。

過去のライフマップ
掲載事例はこちら



スマート介護の
WEBページはこちら



New 介護は生活を支える仕事? 介護は人生を支える仕事!
ご利用者様の思いを知り、本当に最高の人生と一緒に作ろう!

なぜ利用者が
不機嫌になるのか、
わからない。

自立につながるケア
プランをどう考えれば
良いか、わからない。

わからないのは見えていないからかもしれません。
さわやか倶楽部のライフマップは、
利用者さま、ご家族、スタッフ、ケア
マネジャーをつなぐ、絵をつかう
コミュニケーションのツールです。

使い方
人生に役立つカードに、マップ式のビスやカードを利用し、利用者様の人生を描き起こります。書いていたあの思い、思い出しのあの瞬間を思い出し、思い出に響きあうライフマップが完成します。

おすすめポイント
ライフマップは日本のインクルーシブデザインの権威である九州大学で介護福祉の専攻をもつ開発された、絵を扱うコミュニケーションツールです。従来のケアプランから、絵介・介護者・家族・ケアマネジャーの意見を取り入れ、すべての方が、見やすい、使いやすい、わかりやすいデザインとなっています。
今まで介護する立場がなかった介護を受ける方の本音の気持ち、家族の方の思い、本音はあんなことやこんなことをしたいけど、迷惑をかけたくない、そういう思いも汲み取りたい、聞いてくれるツールです。

セット内容	サイズ	価格
●A4用紙10枚	●ホワイトボード (A3) 2枚	¥22,800
●A5用紙10枚 (B5用紙2枚) 10枚	●A4用紙10枚 (B5用紙2枚) 10枚	¥39,800
●マグネットビス 57		¥43,700

さわやか倶楽部
ライフマップ
お問い合わせ: 134-7973



Happy Wedding

鳥居 舞果さん & 久人さん
(旧姓・中筋)

5月26日に入籍致しました。これからは夫婦で力を合わせて明るい家庭を築きながら、仕事もより頑張りたいと思います。今後とも宜しくお願いします。

♥さわやか和歌山館 事務職・鳥居 舞果



あなたのお悩み話してみませんか?
さわやか相談室

お気軽にどんなことでもご相談ください。
お電話、メールお待ちしております!

電話番号

090-9497-5764

メール sawayakasoudan@docomo.ne.jp